ご案内

通所リハビリテーション

2025年5月より 定員10名 ▶▶ 25名



2025年5月1日より通所リハビリテーションの受け入れ定員を増員しました。

これまでは本館リハビリテーション室にて定員10名で実施しておりましたが、2025年5月1日より南棟「多目的室」に場所を移し、定員を25名に増員して営業しています。

より良いサービスを提供し、利用者の皆様の生活に良い変化をもたらすことができるようにスタッフ一同努力してまいります。

介護保険をお持ちでご興味のある方は、通所リハビリテーション担当　足立までお問い合わせください。

- 退院直後にリハビリを継続したい
- 運動のアドバイスが欲しい
- 活動を通じて他者との交流の場を広げたい
- 心と体の健康を保ち、潤いのある生活を送りたい

当日の流れ

1. バイタル測定
2. リハビリ体操
3. マシントレーニング
4. 個別運動指導
5. 整理体操

営業時間

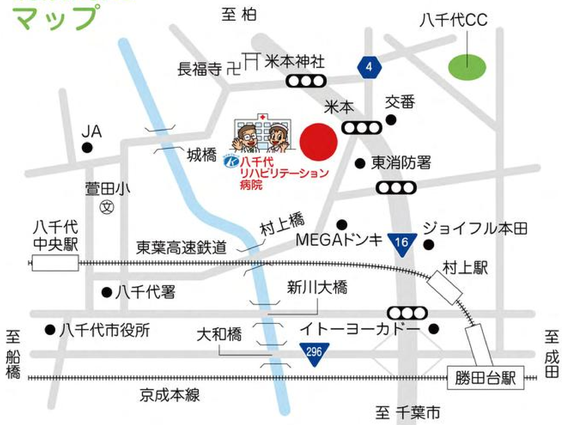
月曜日～土曜日（祝日含む）

❶ 10：30～11：50
❷ 13：00～14：20
❸ 14：40～16：00

ご利用料金・詳細はスタッフまでお尋ねください。

お問い合わせ　〒276-0015 千葉県八千代市米本1808番地　TEL：047-488-1555 / FAX：047-488-1552

病院周辺マップ



交通のご案内

<京成電鉄勝田台駅からのご案内>

勝田台駅から東洋バスで米本団地行15分
「八千代リハビリテーション病院」停留所下車

<お車をご利用のご案内>

国道16号線柏方面からお越しの方

米本交差点を右折し病院後方入口よりお入りください。

国道16号線千葉方面からお越しの方

米本交差点を通過のうえ病院正面入口を左折してください。

<送迎バスのご案内>

京成勝田台駅北口、千葉ニュータウン駅より無料送迎バスが運行しています。
詳しくはHPをご確認ください。 当院HP▶

八千代リハビリテーション病院　広報誌
クローバー 59
令和8年　2月発行

企画発行　八千代リハビリテーション病院 広報委員会
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL 047-488-1555 ／ FAX 047-488-1552

広報誌 Clover ／2026.2 新春号　Yachiyo Rehabilitation Hospital

クローバー vol.59



CONTENTS

2P ✤ 新年のご挨拶
3P ✤ 忘年会
✤ クリスマス会
4P ✤ 千葉地区KG医療連携会
5P ✤ 心の交流会
✤ むすびプロジェクト
6P ✤ どーんと祭り
✤ やちけあフェス
7P ✤ ワンポイントレッスン
✤ 薬局コラム
8P ✤ 通所リハビリテーションのご案内

おいしいお餅がつけました！

一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
https://yachiyo-reha.com

新年のご挨拶





院長
大鹿 芳郎

新年あけましておめでとうございます。

皆さまが穏やかに新しい年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

昨年9月に公表された人口動態統計によると、令和６年の出生数は６８万６千人と初めて７０万人を下回りました。これは当初の予想を４半世紀も前倒しとなる驚異的なペースで少子化が進んでいるということを意味します。そしてそれに続く少子高齢化社会や我々が今まさに直面している身寄りなし問題なども、予想をはるかに超えるスピードでかつ圧倒的なボリュームで迫ってくることになります。

一医療機関としてできることは限られていますが、病院一丸となって取り組むと同時に、地域の皆さまや医療介護施設、行政機関など関係の皆さまとタッグを組み、より現実的なソリューションを提供できるよう努力していく所存でございます。

今私たちは、このような少子高齢化問題だけでなく、日々様々な問題・課題に直面しています。そのような中でも、少しでも皆さまの「心に寄り添い」そしてより「安心・安全な医療」を提供できるよう取り組んでまいります。

今年一年も、皆さまにとって幸多い一年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

笑顔いっぱい！一年の感謝を込めて

楽しい忘年会









今年も一年の締めくくりとして、令和7年度忘年会がホテルにて盛大に開催されました。

豪華なお料理と華やかな雰囲気の中、職員が笑顔で交流を深めました。

会場を沸かせたのは、院長はじめ看護部長、スペシャルゲストによるAIを駆使したダンスパフォーマンス!キレッキレッのダンスに思わず吹き出すほど盛り上がりました。

チーム対抗クイズ大会では、チームワークを駆使して熱戦が繰り広げられました。会場は推しチームを応援する参加型ゲームで、全員が一体となって楽しむことができました。

心待ちにしていた抽選会も行われ、当選者が発表されるたびに大きな歓声が上がりました。会場はボルテージMAXで数々の豪華賞品に期待と興奮の渦に包まれました。

この楽しいひと時を実現できたのは、職員のためにと準備から当日の運営まで尽力した実行委員のおかげです。

そして来年もまた、この暖かい時間を共有できるよう私たちも日々の仕事を頑張り、病院全体が元気で、患者さんに安心していただける医療の提供に努めてまいります。

クリスマス会


ケーキとワインを楽しむ会場の様子♪


チーム対抗ゲームの白熱した様子!


クリスマス会実行委員会のメンバー

2025年12月14日にクリスマス会を開催しました!

今回のクリスマス会は「くじ引き」「ミニゲーム」「軽食」の3つの出店を用意しました。

出店を楽しんだ後は患者さんに参加していただき、うちわと風船を使ったチーム対抗ゲームを開催しました。大きな声援を受けながら白熱したゲームが繰り広げられ大盛り上がりでした!

軽食は栄養科手作りの苺ババロアやチョコレートケーキ、さらにノンアルコールワインが提供され、あちこちで患者さんの笑顔を見ることが出来ました。

来年も患者さんに喜んでもらえるクリスマス会を企画したいと思います。

クリスマス会実行委員長

今年は
クリスマスツリーを
4つ飾りました☆





第3回

千葉地区
カマチグループ医療連携会

10月22日に第３回千葉地区カマチグループ医療連携会が、TKP幕張ホールで開催されました。今回は一昨年報告させていただいた「むすびプロジェクト」と昨年報告させていただいた「身寄りなしプロジェクト」の経過報告に加え、新たに開催された「心の交流会」について発表させていただきました。

懇親会では、ご来場の方々と情報交換を行い、連携を深める時間を過ごすことが出来ました。今後も回復期リハビリテーション病院としてさらなる地域貢献に努めて参ります。



第1回

心の交流会







令和7年10月11日、「第1回　心の交流会」を開催しました。本交流会は、退院後の生活に不安を感じる方が、同じ立場の仲間と交流し、悩みを共有することで心を和らげる“ピアサポート”を目的としています。

6月に委員会を設立し、多職種が協力して毎月の会議で企画を検討してきました。当日は当院の外来·通所リハビリ利用者とご家族の計20名が参加し「転倒予防について」の講話後に、座談会を行いました。転倒経験や日頃の工夫などを活発に意見交換されていました。

アンケートでは満足度100%であり、「また参加したい」が94%と高評価をいただき、「他の方の話が参考になった」「同じ悩みを共有できて安心した」との声が寄せられ、次回は令和8年2月の開催を予定し、地域住民との交流へも広げていく予定です。

むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

福祉と医療の連携について ～列島会・あきの会施設見学の実施～



令和7年6月28日、令和健康科学大学において「福祉と医療の連携を考える会」が開催されました。本会は、列島会·ゆとり·あきの会の3法人が主催し、医療や福祉の現場で実際に行われている支援の取り組みが発表されました。発表では、利用者一人ひとりの個性を尊重した多様な支援のあり方が数多く紹介されました。

今回の会に先立ち、私達は列島会およびあきの会の各施設を見学する機会をいただきました。列島会では、全国でも受注売上が高く、規模の大きな就労支援事業所を展開しており、とりわけ障がいの特性を活かした芸術活動が印象的でした。現在は4名のアーティストの方々が、それぞれの感性を活かして創作に取り組んでいました。あきの会では、「障害児医療生活支援ホーム　虹の家」を運営しており、特に「在宅療養児一時受け入れ支援事業」に力を注いでいます。併設の「なないろ診療所」では、施設利用中に受診や薬の処方も可能で、ご家族のニーズに寄り添った支援が行われている点が大変印象的でした。見学を通じて、患者さんが病院を退院された後の「生活期」にこそ、継続的であたたかな支援が必要であることをあらためて認識する機会となりました。

今回学んだことを今後の活動に生かすために、むすびプロジェクトでは「地域を支え、人に寄り添い、人生を応援する」という理念を大切にしながら、これからも活動を続けてまいります。

どーんと祭り
に参加しました！





八千代市産業祭「どーんと祭り」に参加し、血管年齢測定や体成分分析（INBODY）を使用して筋肉量などの測定を看護師・リハビリスタッフで実施しました。雨天で一部中止となりましたが、当日は当院のブースに約80名が来場し大盛況でした。相談や質問も多く寄せられ、住民の健康意識の高さを実感しました。地域に直接出向き交流することで健康づくりへの意識を高める重要性を改めて感じました。来年も皆さんと楽しみながら取り組みたいと思います。





やちけあフェス

2025年11月30日に八千代市福祉センターで開催された『やちけあフェス』に参加し、リハビリブースにて「血圧」「握力」「歩行速度」を評価し、その結果をもとに運動や生活のアドバイスを行いました。

地域の皆さんはフレイル予防や要介護状態を避けるための工夫に高い関心を持っており、医療従事者と直接話せる機会に喜ぶ声が聞かれました。

今回の経験を当院で取り組んでいる、介護予防教室や健康講話に活かしていきたいと思います。

POINT

これからの季節に役立つカラダケア！

ワンポイントレッスン

寒さで体を動かす機会が減るこの季節。筋力やバランス感覚は、使わないと少しずつ衰えていきます。そこで今回は、、スクワット&片足立ちで“動ける体”をキープ‼

スクワット

スクワットは太ももやお尻などの大きな筋肉を効率よく鍛えられる運動です。立つ、歩く、階段を上るといった日常生活動作を支える“基礎体力”のアップにつながります。

方法

- 転倒の予防として必ず後ろ側に椅子やベッドを用意しましょう。
- 立ち姿勢で両腕を肩の高さに上げます。
- そのまましゃがみます。この時に膝がつま先よりも前に出ないように気をつけましょう。肩や膝に痛みがある場合は痛くない範囲で無理せず行いましょう。
- 運動の目安　5～10回　3セット



片脚立ち

片足立ちは、ふらつきを防ぐためのバランス能力を養う運動です。転倒予防にも効果的で、テレビを見ながらでも手軽に続けられます。

方法

- 転倒の予防として、必ず横に椅子やテーブルなどの支えになる物の近くで行いましょう。
- 片方の脚の付け根と膝を90度に曲げ、そのまま脚をキープします。
- 時間は各30秒～60秒程度を目安に行いましょう。
- この時間できつい方は無理をしないで時間を短くして行って下さい。



1日数回、無理のない範囲で続けることが大切です。
新しい年のスタートに “転ばない・疲れない体づくり” を始めてみませんか？

薬局コラム

電子版お薬手帳 使ってみませんか？



最近では、スマートフォンで管理できる様々な電子版お薬手帳アプリが普及してきています。

電子版お薬手帳とは、紙で記録していたお薬手帳をスマートフォンアプリで管理できるようにしたものです。

電子版お薬手帳には、薬の記録以外にも便利な機能があり、例えば薬の飲み忘れが無いように通知する服用アラームや、血圧や血糖値などの自身の健康情報を記録・管理することができます。自分に合った方法でお薬手帳を活用し服薬管理に役立ててください。